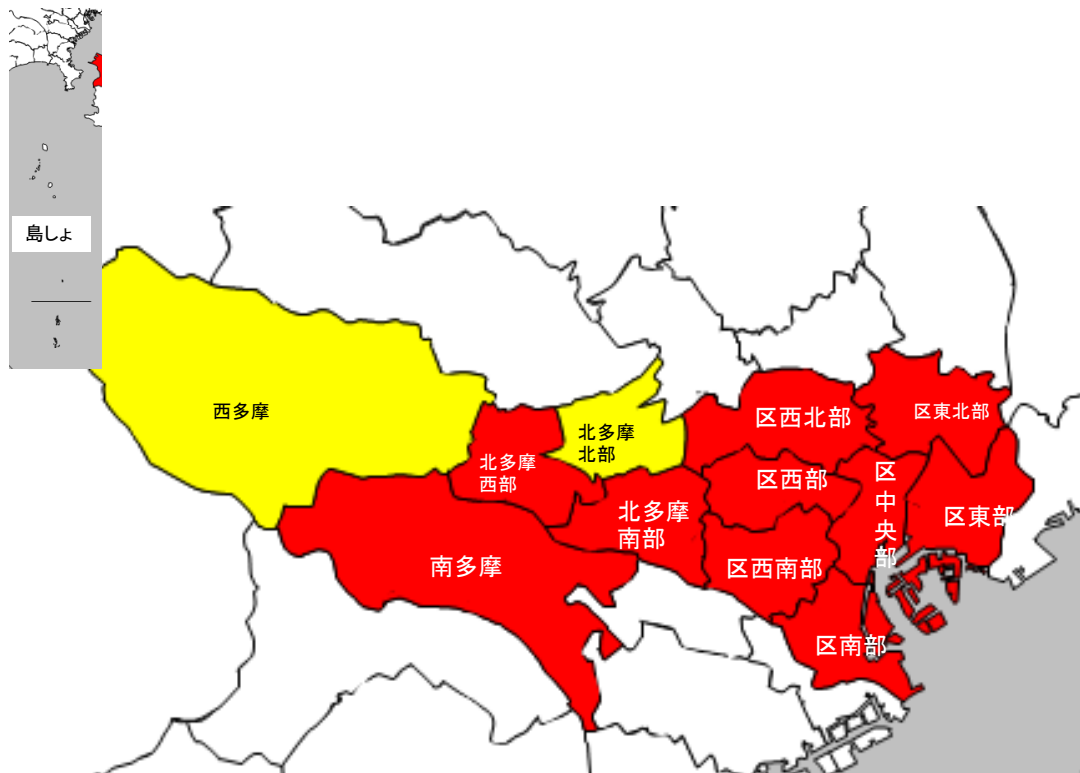


13. 東京都



1.3 東京都

1. 特別区

A. 医療提供体制の現状

特別区は、面積 617 km²、我が国の 0.16%に相当する地域に、約 895 万人が住んでいる。特別区の特徴は、(1) 日本最大の医療集積地、(2) 高齢者ベッドの極度の不足、(3) 多い医師、少ない看護師、(4) 特別区内でも医療提供水準に大きな差があることである。

(1) 日本最大の医療集積地

特別区を一つの医療圏とみなすと、人口 10 万人当たりの病院勤務医数が 389 人（偏差値 66）、医学部本院が 12 施設あり、特別区は日本最大の医療集積地である。全国の手術の約 9% が特別区で行われ、千葉、埼玉、神奈川の東京周辺のみならず、日本中から多くの患者が高度医療を受けるため、特別区に集まってくる。

(2) 高齢者ベッドの極度の不足

介護を必要とする高齢者にケアを提供してくれる総高齢者ベッド数の偏差値が、特別区全体で 33 と低く、一般病床の偏差値 48 と比べ、非常に低い。特別区は、医療は充実しているが、高齢者の住居系サービスが、他の地域と比べ突出して不足している。特に、総高齢者ベッド数の区西部の偏差値 25、区南部の 28 は、危機的な状況と言える。

(3) 多い医師、少ない看護師

東京都全体の総医師数の偏差値が 60、特別区が 66 と、特に都心に医師が集まっている。一方看護師数は、東京都全体で 44、特別区も 45 と、医師数とは逆に看護師数は全国平均を大きく下回っている。二次医療圏ごとの看護師数/医師数比率を計算すると、区西部（新宿区、中野区、杉並区）が日本で一番低く、第 2 位が区中央部（文京区、港区など）である。特別区内でも医師が集まらず困っている病院が少なくなくないが、全体的に見れば、特別区は医師が多く、看護師不足である。

(4) 特別区内でも医療提供水準に大きな差

5つの医学部の本院を抱える区中央部の総医師数の偏差値が 168、3つの医学部の本院を抱える区西部の総医師数の偏差値が 80 と突出して高値である。一方、区東北部（足立区、葛

飾区、荒川区)の総医師数の偏差値が45、区東部(墨田区、江東区、江戸川区)の偏差値が47と、特別区内にも医師が少ない医療圏がある。特に区東北部は、中小の医療機関が多いが、医学部が存在せず、年間で全身麻酔を1,000件以上行う基幹病院が2施設しかない。その結果、多くの患者が区中央部の大学病院や高機能病院を利用している。同様に、医学部本院の存在しない区東部の患者が区中央部の医療機関を、同じく医学部本院の無い区西南部(世田谷区、目黒区、渋谷区)の患者は、区西部の医療機関をよく利用している。

特別区内は、面積が狭いうえに交通の便もよく、医療圏の枠を超えて受診しても時間がかからないため、多くの患者が医療圏を超えて受診している。また都外から東京へ通勤する人の多くが特別区の医療機関を受診し、特別区の日本を代表する医療機関を受診することを目的とした多くの患者が全国から集まる日本でも特異な地域である。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(区中央部)

区中央部(千代田区、中央区、港区、文京区、台東区)は、人口約76万人、面積64/km²、人口密度は約11,920人/km²の大都市型二次医療圏である。区中央部は日本の医療の拠点であり、順天堂大学医学部附属順天堂医院(1,020床、全麻8,000件以上)、東京慈恵会医科大学附属病院(1,075床、全麻6,000件以上)、東京大学医学部附属病院(1,210床、全麻5,000件以上)、日本医科大学付属病院(1,092床、全麻5,000件以上、救命救急)、東京医科歯科大学医学部附属病院(800床、全麻3,000件以上、救命救急)という5つの医学部本院がある。また年間全身麻酔3,000件を超える国立がん研究センター中央病院(DPCⅡ群)、虎の門病院(DPCⅡ群)、聖路加国際病院(救命救急)、年間2,000件以上の三井記念病院、東京都立駒込病院、済生会中央病院(DPCⅡ群)、国際医療福祉大学三田病院が、あり、高機能病院が数多く存在する日本で一番の医療が集積された地域である。その他、駿河台日本大学病院(救命救急)など年間1,000件以上の全身麻酔を行う病院が5病院あり、急性期医療機関の密集地域である。

人口当たりの総病床数の偏差値は63(一般病床95、療養病床41、精神病床39)、総医師数が168(病院勤務医数153、診療所医師174)、総看護師数92、全身麻酔数131であり、日本で最も充実した急性期医療が提供されている反面療養病床や精神病病床が少なく、これらの病床に入院が必要な時は、地域外の施設に入院せざるを得ない場合が多い。

区中央部の2010→40年にかけての総人口は0%であり、人口が増加する極めて少ない地域である。一方、75歳以上の人口は70%増である。その結果、医療の総需要は34%増、75歳以上の医療需要が70%増である。一方、この地域の0-64歳の医療需要は17%減の予測である。この地域は、関東を中心に日本各地から患者が集まり医療需要の推移予測が最も難しい地域であるが、日本全体の0-64歳の医療需要が30%減少であることから、この地域の高度医療機関を利用する患者数は、この地域の人口推移から予測される値よりも更に下振れし、0-64歳の医療需要は、この地域の人口動態を元にした予測値以上に減少することが予想される。高機能病床の一部を、回復期や高齢者向けの病床に転換されることが望ましい。

この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が少ないので、後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。総高齢者ベッド数の偏差値も 33 と極端に低く、介護施設も不足している。

(区南部)

区南部（品川区、大田区）は人口約 106 万人、面積 82/km²、人口密度は約 12,880 人/km²の大都市型二次医療圏である。区南部には、東邦大学医療センター大森病院（1,021 床、全麻 4,000 件以上、救命救急）、昭和大学病院（853 床、全麻 4,000 件以上、救命救急）という 2 つの医学部本院がある。また年間全身麻酔 1,000 件を超える東京労災病院、東芝病院、大森赤十字病院、東京都保健医療公社荏原病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 39（一般病床 45、療養病床 42、精神病床 38）、総医師数が 60（病院勤務医数 57、診療所医師 65）、総看護師数 41、全身麻酔数 51 と、人口当たりの病床数と看護師数は少ないが、医師数と全身麻酔数は全国平均を超え、高機能の医療提供体制は充実している。一方、療養病床や精神病床が少なく、これらの病床に入院が必要な時は、地域外の施設に入院せざるを得ない場合が多い。総高齢者ベッド数の偏差値も 28 と極端に低く、介護施設も不足している。

2010→40 年にかけての総人口 4%減、75 歳以上の人口は 63%増である。総人口があまり変わらず後期高齢者が増える結果、医療の総需要は 24%増、75 歳以上の医療需要が 59%増である。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が全国平均よりはるかに少なく、回復期や後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。一方、0-64 歳の医療需要は 18%減であり、高機能病床の一部が、高齢者向けの病床に転換されることが望ましい。

(区西南部)

区西南部（目黒区、世田谷区、渋谷区）は人口約 135 万人、面積 88/km²、人口密度は約 15,360 人/km²の大都市型二次医療圏である。区西南部には、医学部本院はないが、年間 3,000 件以上の全身麻酔を行う国立成育医療研究センター病院、日本赤十字社医療センター（DPCⅡ群）、年間 2,000 件以上の東京医療センター（救命救急）、年間 1,000 件以上が伊藤病院（甲状腺専門）、東邦大学医療センター大橋病院（DPCⅡ群）、都立広尾病院（救命救急）など 7 病院と、日本を代表するような医療機関が林立する高機能の医療提供体制は充実した地域である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 41（一般病床 45、療養病床 43、精神病床 43）、総医師数が 59（病院勤務医数 53、診療所医師 69）、総看護師数 43、全身麻酔数 52 であり、人口当たりの病床数と看護師数は少ないが、医師数と全身麻酔数は全国平均を超え、高機能の医療提供体制は充実している。一方、療養病床や精神病床が少なく、これらの病床に入院が必要な時は、地域外の施設に入院せざるを得ない場合が多い。総高齢者ベッド数の偏差値も 31 と極端に低く、介護施設も不足している。

2010→40 年にかけての総人口は 5%減、75 歳以上の人口は 73%増と予想されている。総人口があまり変わらず後期高齢者が増える結果、医療の総需要 29%増、75 歳以上の医療需要

73%増が見込まれている。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が全国平均よりはるかに少なく、回復期や後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。一方、0-64歳の医療需要は、22%減であり、高機能医療提供の過剰が予測されるので、高機能病床の一部が、高齢者向けの病床に転換されることが望ましい。

(区西部)

区西部（新宿区、中野区、杉並区）は人口約119万人、面積68/km²、人口密度は約17,550人/km²の大都市型二次医療圏である。区西部には、慶應義塾大学病院（1,056床、全麻6,000件以上）、東京女子医科大学病院（1,423床、全麻6,000件以上、救命救急）、東京医科大学病院（1,015床、全麻4,000件以上、救命救急）という3つの医学部本院があり、年間2,000件以上の東京警察病院、年間1,000件以上が 国立国際医療研究センター病院、社会保険中央総合病院など6病院と、日本を代表するような医療機関が林立する高機能の医療提供体制は充実した地域である。

人口当たりの総病床数の偏差値は43（一般病床51、療養病床43、精神病床39）、総医師数が80（病院勤務医数77、診療所医師81）、総看護師数47、全身麻酔数61であり、日本で医師対看護師の比率が最も低い看護師不足の地域である。また、療養病床や精神病床が少なく、これらの病床に入院が必要な時は、地域外の施設に入院せざるを得ない場合が多い。総高齢者ベッド数の偏差値も25と日本最低であり、介護施設も極度に不足している。

区西部の2010→40年にかけての総人口は10%の減、75歳以上の人口は75%増である。その結果、医療の総需要は28%増、75歳以上の医療需要が75%増である。一方、この地域の0-64歳の医療需要は、28%減少の予測である。この地域は、関東を中心に日本各地から患者が集まり医療需要の推移予測が難しい地域であるが、この地域の人口動態を元にした予測値以上に減少することが予想される。高機能病床の一部を、回復期や高齢者向けの病床に転換されることが望ましい。

この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が少ないので、後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。

(区西北部)

区西北部（豊島区、北区、板橋区、練馬区）は人口約187万人、面積114/km²、人口密度は約16,430人/km²の大都市型二次医療圏である。区西北部には、帝京大学医学部附属病院（1,154床、全麻3,000件以上、救命救急）、日本大学医学部附属板橋病院（1,037床、全麻3,000件以上、救命救急）という2つの医学部本院があり、年間全身麻酔2,000件を超える病院は2施設、年間全身麻酔1,000件を超える病院は5施設と、高機能の医療提供体制は充実した地域である。

人口当たりの総病床数の偏差値は43（一般病床43、療養病床46、精神病床46）、総医師数が52（病院勤務医数50、診療所医師56）、総看護師数41、全身麻酔数45であり、医師数が多く、看護師数と全身麻酔数が少ない、珍しいパターンである。総高齢者ベッド数の偏差値も34と、介護施設も少ない。

2010→40年にかけての総人口は5%減、75歳以上の人口は87%増であることが予想されている。総人口があまり変わらず後期高齢者が増える結果、医療の総需要は31%増、75歳以上の医療需要87%増が見込まれる。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が全国平均より少なく、回復期や後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。一方、0-64歳の医療需要は23%減である。高機能医療提供の過剰が予測されるので、高機能病床の一部が、高齢者向けの病床に転換されることが望ましい。

(区東北部)

区東北部(荒川区、足立区、葛飾区)は、人口約133万人、面積98/km²、人口密度は約13,540人/km²の大都市型二次医療圏である。区東北部には医学部がなく、東京女子医科大学東医療センター(救命救急)や、年間1,000件以上の全身麻酔を行う東京慈恵会医科大学附属青戸病院、東京都保健医療公社東部地域病院など、人口に比して高機能病院も少なく、急性期医療は区中央部に大きく依存している。

人口当たりの総病床数の偏差値は40(一般病床42、療養病床45、精神病床42)、総医師数が45(病院勤務医数42、診療所医師53)、総看護師数36、全身麻酔数41であり、地域密着型(後方支援と亜急性)の病床が多く、また、診療所の医療の比率が高い地域である。一方、総高齢者ベッド数の偏差値も40と、介護施設が特別区内では最も充実している。

区東北部の2010→40年にかけての総人口は17%の減と都内では飛び抜けて減少率が高い。一方、75歳以上の人口は、区東北部が47%増と都内で最も低い。その結果、医療の総需要は、6%増、75歳以上の医療需要が47%増である。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が都内では豊富なほうだが全国平均より低く、回復期や後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。

一方、0-64歳の医療需要は、区東北部が30%減少である。現在は不足気味だが、現状を維持すれば、不足感が緩和される可能性が高い。

(区東部)

区東部(墨田区、江東区、江戸川区)は、人口約139万人、面積103/km²、人口密度は約13,410人/km²の大都市型二次医療圏である。区東部には、医学部がないが、年間全身麻酔5,000件を超えるがん研究会有明病院(DPCⅡ群)や、年間2,000件以上全麻を行う東京都立墨東病院(救命救急)、年間1,000件以上の江戸川病院、東京臨海病院、同愛記念病院、岩井整形外科内科病院などがある。

人口当たりの総病床数の偏差値は36(一般病床40、療養病床40、精神病床38)、総医師数が47(病院勤務医数43、診療所医師55)、総看護師数36、全身麻酔数44であり、病床数、医師数、看護師数、全身麻酔数ともに全国平均を大きく下回り、特に急性期医療は区中央部に大きく依存している。診療所の医療の比率が高い地域である。一方、総高齢者ベッド数の偏差値も37と、全国平均を大きく下回っているが、区東北部について特別区内では2番目に高い。

2010→40年にかけての総人口は1%の増、75歳以上の人口は72%増である。その結果、

医療の総需要は27%増、75歳以上の医療需要が72%増である。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が都内では豊富なほうだが全国平均より低く、回復期や後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。一方、0-64歳の医療需要は、11%減少である。現在は不足気味だが、現状を維持すれば、不足感が緩和される可能性が高い。

2. 特別区外

A. 医療提供体制の現状

特別区外の人口約421万人であり、人口規模で考えるなら、9位の福岡県（507万人）と、人口規模10位の静岡県（377万人）の間に位置する。特別区外には、東京の郊外の住宅地域以外に、西多摩の山岳地帯や島しょ地帯もこのエリアに含まれる。

この地域の特徴は、（1）医療資源の全体的な不足、（2）特別区や他の医療圏への依存、（3）特別区からの長期療養や介護を必要とする高齢者の受け入れである。

（1）医療資源の全体的な不足

特別区外の人口当たりの総病床数の偏差値が48、一般病床が43、総医師数が47（病院勤務医数47、診療所医師49）、総看護師数が44、全身麻酔数46であり、この地域は人口が多い割に、医療提供が少ない地域と言える。各二次医療圏に基幹病院が存在するが北多摩南部（三鷹）を除くと、基幹病院の数も不足気味である。

更に、特別区で仕事をし、病気になったら都心の医療機関を受診していた団塊の世代以降の人達が、大量に定年で退職するようになり、急に地元の医療機関を受診するようになり、しかも有病率の高まる年齢になっていく。この地域の2010→40年にかけての総人口の変動は少なく、後期高齢者が激増するので、他の地域からの流入がなくとも、2010→40年にかけての医療需要は、2割から3割程度増加する。特に75歳以上医療需要は高い伸びを示す。この地域の医療資源不足が、今後ますますひどくなることが予測され、高機能病床も、この地域では増強が必要と思われる。

西多摩医療圏の奥多摩地域と島しょは、医療機関も少ないが、人口も少なく、過疎地域である。特に島しょ地域は、日本で最も医療提供体制が不備な地域の一つである。

（2）特別区や他の医療圏への依存

西多摩を除き各医療圏の面積が狭く、交通の便も良く、東京都内へ通勤する人が多いので、特別区や他の医療圏の医療機関を受診する人が多い。

（3）特別区からの長期療養や介護を必要とする高齢者の受け入れ

西多摩、南多摩、北多摩北部は、総高齢者ベッド数、病床数が多く、一般病床が少ない。

この地域には、高齢者施設や療養病床、精神病床が多く、特別区から長期療養の必要な患者や、精神疾患の入院患者を数多く受け入れている。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(西多摩)

西多摩（青梅）は、人口約 40 万人、面積 573/km²、人口密度は約 690 人/km²の地方都市型二次医療圏である。西多摩には、年間全身麻酔 1,000 件を超える青梅市立総合病院（救命救急）、年間 500 件以上の高木病院、公立福生病院などがある。

この地域の人口当たりの人口当たりの総病床数の偏差値は 61（一般病床 44、療養病床 62、精神病床 71）、総医師数が 44（病院勤務医数 46、診療所医師 42）、総看護師数 46、全身麻酔数 41 であり、病床は多いが、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数ともに少ない地域である。また、精神病床と療養病床が多く、特別区からも多くの患者を受け入れている。また、この地域は、人口当たりの特養を中心とする総高齢者ベッド数の人口当たりの数が日本で最も多い。

一方、西多摩は、その地域の多くが山間部にも関わらず、総人口 22%減、75 歳以上人口が 61%増と、人口の推移は周辺の医療圏と大きく変わらない。今後大きな需要増が見込まれる高齢者医療への対応を中心に、医療の増強が必要な地域である。

(南多摩)

南多摩（八王子市、町田市）は、人口約 142 万人、面積 325 km²、人口密度は約 4,370 人/km²の大都市型二次医療圏である。地域の基幹病院として年間全身麻酔 1,000 件を超える日本医科大学多摩永山病院（救命救急）、東海大学医学部付属八王子病院、東京医科大学八王子医療センター（救命救急、DPCⅡ群）、町田市民病院、日野市立病院、稲城市立病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 50（一般病床 38、療養病床 50、精神病床 62）、総医師数が 44（病院勤務医数 42、診療所医師 50）、総看護師数 41、全身麻酔数 42 であり、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数ともに少なく、診療所の比率が高い地域である。また精神病床が多いことも、この地域の特徴である。

この地域の 2010→40 年にかけての総人口は 5%減と変動は少なく、75 歳以上の人口が 104%増と激増するので、2010→40 年にかけての医療需要は 29%増加する。特に 75 歳以上医療需要は 104%増という高い伸びを示す。よってこの地域の医療資源不足が、今後ますますひどくなることが予測され、高機能病床もこの地域では増強が必要と思われる。

この地域には、特別区から長期の入院を必要とする高齢者が、数多く流入してくる。回復期や高齢者向けの病床は、現在でも比較的高いレベルであるが、更なる強化が望まれる。

(北多摩西部)

北多摩西部（立川市）は、人口約 64 万人、面積 90/km²、人口密度は約 7,100 人/km²の大都市型二次医療圏である。地域の基幹病院として年間 2,000 件以上の全麻を行う立川病院、年間

1,000 件以上の災害医療センター（救命救急）、東大和病院、東京西徳洲会病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 38（一般病床 41、療養病床 44、精神病床 38）、総医師数が 45（病院勤務医数 42、診療所医師 53）、総看護師数 39、全身麻酔数 47 であり、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数ともに少なく、診療所の比率が高い地域である。

この地域の 2010→40 年にかけての総人口は 8%減と変動は少なく、75 歳以上の人口が 88%と激増するので、2010→40 年にかけての医療需要は 24%増加する。特に 75 歳以上医療需要は 88%増という高い伸びを示す。この地域の医療資源不足が、今後ますますひどくなることが予測され、高機能病床もこの地域では増強が必要と思われる。

（北多摩南部）

北多摩南部（三鷹）は、人口約 100 万人、面積 96/km²、人口密度は約 10,500 人/km²の大都市型二次医療圏である。北多摩南部には、特別区外で唯一の医学部である杏林大学（1,153 床、全麻 5,000 件以上、救命救急）、年間 3,000 件以上の全麻を行う都立多摩総合医療センター（救命救急、DPCⅡ群）、武蔵野赤十字病院（救命救急、DPCⅡ群、DPCⅡ群）、年間 1,000 件以上の東京慈恵大学附属第三病院などがある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 47（一般病床 47、療養病床 43、精神病床 54）、総医師数が 57（病院勤務医数 59、診療所医師 52）、総看護師数 49、全身麻酔数 56、人口当たりの病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数が多い。またこの地域は、病病連携、病診連携が進み、都内でも急性期医療の提供が充実した地域である。

2010→40 年にかけての総人口は 4%減、75 歳以上の人口は 90%増であり、これからの日本社会では珍しい人口増加地域であり、後期高齢者激増地域でもある。その結果、医療の総需要が 32%増、0-64 歳の医療需要は 21%の減、75 歳以上の医療需要は 90%増である。よって高機能病床は現状維持またはやや増強、回復期や高齢者向けの病床が強化されることが望まれる。

（北多摩北部）

北多摩北部（小平）は、人口約 73 万人、面積 77/km²、人口密度は約 9,500 人/km²の大都市型二次医療圏である。北多摩北部には、年間全身麻酔 2,000 件を超える公立昭和病院（救命救急、DPCⅡ群）がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 51（一般病床 48、療養病床 49、精神病床 55）、総医師数が 44（病院勤務医数 45、診療所医師 44）、総看護師数 44、全身麻酔数 40 であり、病床数は多いが、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数ともに少ない地域である。

この地域の 2010→40 年にかけての総人口は 7%減と変動は少なく、75 歳以上の人口が 73%増であり、2010→40 年にかけての医療需要は 22%増加する。特に 75 歳以上の医療需要は 73%増という高い伸びを示す。

この地域には、特別区から長期の入院を必要とする高齢者が、数多く流入してくる。回復期や高齢者向けの病床は、現在でも比較的高いレベルであるが、更なる強化が望まれる。

(島しょ)

島しょの人口は約 2.8 万人、面積 401/km²、人口密度は約 70 人/km²の過疎型二次医療圏である。町立八丈病院（54 床）が、この地域の唯一の病院である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 28（一般病床 27、療養病床なし、精神病床なし）、総医師数が 37（病院勤務医数 30、診療所医師 54）、総看護師数 30、全身麻酔数 0 件、人口当たりの病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数が人口当たりの医療資源量が日本で最も少ない地域であり、診療所の比率が高い医療が提供されている。

この地域は将来の大幅な人口減を考慮しても、医療の増強が必要であろう。

表 13-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
東京都	13,159,388	1位	2,178	45位	6,042.3		20%	-6%	76%
特別区合計	8,945,695	68%	617	28%	14,498.0	大都市型	20%	-6%	71%
区中央部	757,562	6%	64	3%	11,920.7	大都市型	19%	0%	70%
区南部	1,058,675	8%	82	4%	12,882.4	大都市型	20%	-4%	63%
区西南部	1,349,960	10%	88	4%	15,359.7	大都市型	19%	-5%	73%
区西部	1,190,628	9%	68	3%	17,550.5	大都市型	19%	-10%	75%
区西北部	1,872,170	14%	114	5%	16,432.6	大都市型	20%	-5%	87%
区東北部	1,329,308	10%	98	5%	13,538.1	大都市型	22%	-17%	47%
区東部	1,387,392	11%	103	5%	13,411.2	大都市型	19%	1%	72%
特別区外合計	4,213,693	32%	1,561	72%	2,699.6	大都市型	21%	-7%	87%
西多摩	395,785	3%	573	26%	691.1	地方都市型	23%	-22%	61%
南多摩	1,419,575	11%	325	15%	4,374.4	大都市型	21%	-5%	104%
北多摩西部	641,246	5%	90	4%	7,105.2	大都市型	20%	-8%	88%
北多摩南部	1,001,519	8%	96	4%	10,452.1	大都市型	19%	-4%	90%
北多摩北部	727,753	6%	77	4%	9,501.9	大都市型	22%	-7%	73%
島しょ	27,815	0%	401	18%	69.4	過疎型	29%	-33%	2%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 13-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
東京都	643	7.5%	4.9	45	12,612	12.7%	96	59
特別区合計	421	65%	4.7	45	9,612	76%	107	65
区中央部	55	9%	7.3	51	2,059	16%	272	150
区南部	42	7%	4.0	43	1,007	8%	95	59
区西南部	50	8%	3.7	42	1,638	13%	121	72
区西部	43	7%	3.6	42	1,399	11%	118	71
区西北部	94	15%	5.0	46	1,598	13%	85	54
区東北部	84	13%	6.3	49	923	7%	69	46
区東部	53	8%	3.8	43	988	8%	71	47
特別区外合計	222	35%	5.3	46	3,000	24%	71	47
西多摩	30	5%	7.6	52	258	2%	65	44
南多摩	78	12%	5.5	47	949	8%	67	44
北多摩西部	24	4%	3.7	43	486	4%	76	49
北多摩南部	48	7%	4.8	45	822	7%	82	52
北多摩北部	41	6%	5.6	47	464	4%	64	43
島しょ	1	0%	3.6	42	21	0%	75	49
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 13-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
東京都	126,798	8.1%	964	44	4,441	3.5%	34	44
特別区合計	78,341	62%	876	43	3,247	73%	36	44
区中央部	13,946	11%	1,841	63	346	8%	46	45
区南部	7,679	6%	725	39	344	8%	32	44
区西南部	11,073	9%	820	41	437	10%	32	44
区西部	10,464	8%	879	43	392	9%	33	44
区西北部	17,117	13%	914	43	570	13%	30	44
区東北部	10,273	8%	773	40	622	14%	47	45
区東部	7,789	6%	561	36	536	12%	39	44
特別区外合計	48,457	38%	1,150	48	1,194	27%	28	43
西多摩	6,841	5%	1,728	61	185	4%	47	45
南多摩	17,093	13%	1,204	50	402	9%	28	43
北多摩西部	4,159	3%	649	38	155	3%	24	43
北多摩南部	10,965	9%	1,095	47	247	6%	25	43
北多摩北部	9,347	7%	1,284	51	149	3%	20	43
島しょ	52	0%	187	28	56	1%	201	60
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 13-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所施設数（再掲）				無床診療所施設数				有床診療所施設数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
東京都	12,612	12.7%	96	59	12,076	13.5%	92	62	536	5.4%	4.1	45
特別区合計	9,612	76%	107	65	9,211	76%	103	67	401	75%	4.5	45
区中央部	2,059	16%	272	150	2,004	17%	265	153	55	10%	7.3	49
区南部	1,007	8%	95	59	968	8%	91	61	39	7%	3.7	44
区西南部	1,638	13%	121	72	1,571	13%	116	75	67	13%	5.0	46
区西部	1,399	11%	118	71	1,341	11%	113	73	58	11%	4.9	46
区西北部	1,598	13%	85	54	1,516	13%	81	56	82	15%	4.4	45
区東北部	923	7%	69	46	876	7%	66	48	47	9%	3.5	44
区東部	988	8%	71	47	935	8%	67	49	53	10%	3.8	44
特別区外合計	3,000	24%	71	47	2,865	24%	68	49	135	25%	3.2	43
西多摩	258	2%	65	44	242	2%	61	45	16	3%	4.0	45
南多摩	949	8%	67	44	906	8%	64	47	43	8%	3.0	43
北多摩西部	486	4%	76	49	467	4%	73	51	19	4%	3.0	43
北多摩南部	822	7%	82	52	792	7%	79	55	30	6%	3.0	43
北多摩北部	464	4%	64	43	446	4%	61	45	18	3%	2.5	42
島しょ	21	0%	75	49	12	0%	43	36	9	2%	32.4	86
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 13-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
東京都	82,082	9.2%	624	47	20,343	6.3%	155	45	23,672	7.0%	180	46
特別区合計	59,453	72%	665	48	11,023	54%	123	43	7,511	32%	84	41
区中央部	12,960	16%	1,711	95	591	3%	78	41	310	1%	41	39
区南部	6,335	8%	598	45	1,100	5%	104	42	178	1%	17	38
区西南部	7,950	10%	589	45	1,479	7%	110	43	1,592	7%	118	43
区西部	8,620	11%	724	51	1,461	7%	123	43	339	1%	28	39
区西北部	10,216	12%	546	43	3,429	17%	183	46	3,440	15%	184	46
区東北部	6,781	8%	510	42	2,032	10%	153	45	1,445	6%	109	42
区東部	6,591	8%	475	40	931	5%	67	40	207	1%	15	38
特別区外合計	22,629	28%	537	43	9,320	46%	221	48	16,161	68%	384	56
西多摩	2,199	3%	556	44	1,902	9%	481	62	2,736	12%	691	71
南多摩	6,145	7%	433	38	3,672	18%	259	50	7,268	31%	512	62
北多摩西部	3,229	4%	504	41	861	4%	134	44	63	0%	10	38
北多摩南部	6,276	8%	627	47	1,188	6%	119	43	3,394	14%	339	54
北多摩北部	4,728	6%	650	48	1,697	8%	233	49	2,700	11%	371	55
島しょ	52	0%	187	27	0	0%	0	37	0	0%	0	37
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 13-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				全身麻酔件数			
	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
東京都	22	10.8%	1.7	50	16	4.2%	1.2	45	294,984	11.4%	2,242	52
特別区合計	14	64%	1.6	50	12	75%	1.3	45	227,436	77%	2,542	56
区中央部	4	18%	5.3	67	6	38%	7.9	64	73,128	25%	9,653	131
区南部	2	9%	1.9	51	2	13%	1.9	47	22,704	8%	2,145	51
区西南部	2	9%	1.5	49	1	6%	0.7	44	30,252	10%	2,241	52
区西部	2	9%	1.7	50	1	6%	0.8	44	36,912	13%	3,100	61
区西北部	2	9%	1.1	48	2	13%	1.1	45	28,980	10%	1,548	45
区東北部	1	5%	0.8	46	0	0%	0	42	15,192	5%	1,143	41
区東部	1	5%	0.7	46	0	0%	0	42	20,268	7%	1,461	44
特別区外合計	8	36%	1.9	51	4	25%	0.9	44	67,548	23%	1,603	46
西多摩	1	5%	2.5	54	1	6%	2.5	49	4,680	2%	1,182	41
南多摩	2	9%	1.4	49	1	6%	0.7	44	18,408	6%	1,297	42
北多摩西部	1	5%	1.6	50	0	0%	0	42	11,064	4%	1,725	47
北多摩南部	3	14%	3.0	56	2	13%	2.0	47	25,956	9%	2,592	56
北多摩北部	1	5%	1.4	49	0	0%	0	42	7,440	3%	1,022	40
島しょ	0	0%	0	43	0	0%	0	42	0	0%	0	29
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 13-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数				病院勤務医数				診療所医師数			
	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
東京都	44,413	13.8%	338	60	25,913	13.0%	197	57	18,500	15.2%	141	65
特別区合計	34,835	78%	389	66	20,226	78%	226	61	14,609	79%	163	72
区中央部	9,726	22%	1,284	168	6,076	23%	802	153	3,650	20%	482	174
区南部	3,592	8%	339	60	2,084	8%	197	57	1,507	8%	142	65
区西南部	4,470	10%	331	59	2,366	9%	175	53	2,104	11%	156	69
区西部	6,150	14%	517	80	3,869	15%	325	77	2,281	12%	192	81
区西北部	5,023	11%	268	52	2,905	11%	155	50	2,118	11%	113	56
区東北部	2,786	6%	210	45	1,390	5%	105	42	1,396	8%	105	53
区東部	3,089	7%	223	47	1,536	6%	111	43	1,553	8%	112	55
特別区外合計	9,578	22%	227	47	5,687	22%	135	47	3,891	21%	92	49
西多摩	788	2%	199	44	513	2%	130	46	274	1%	69	42
南多摩	2,828	6%	199	44	1,475	6%	104	42	1,353	7%	95	50
北多摩西部	1,320	3%	206	45	658	3%	103	42	662	4%	103	53
北多摩南部	3,135	7%	313	57	2,118	8%	211	59	1,017	5%	102	52
北多摩北部	1,470	3%	202	44	915	4%	126	45	555	3%	76	44
島しょ	39	0%	141	37	9	0%	32	30	30	0%	108	54
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 13-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
東京都	87,235	8.4%	663	44	74,436	8.7%	566	45	12,799	7.1%	97	44
特別区合計	60,332	69%	674	45	50,981	68%	570	46	9,351	73%	105	45
区中央部	14,803	17%	1,954	92	11,859	16%	1,565	89	2,944	23%	389	85
区南部	5,973	7%	564	41	5,281	7%	499	42	692	5%	65	39
区西南部	8,304	10%	615	43	7,185	10%	532	44	1,119	9%	83	42
区西部	8,654	10%	727	47	7,624	10%	640	49	1,030	8%	87	42
区西北部	10,632	12%	568	41	9,124	12%	487	42	1,508	12%	81	41
区東北部	5,850	7%	440	36	4,868	7%	366	37	982	8%	74	40
区東部	6,116	7%	441	36	5,040	7%	363	36	1,077	8%	78	41
特別区外合計	26,903	31%	638	44	23,455	32%	557	45	3,448	27%	82	42
西多摩	2,747	3%	694	46	2,456	3%	621	48	291	2%	74	40
南多摩	8,175	9%	576	41	7,191	10%	507	43	984	8%	69	40
北多摩西部	3,370	4%	525	39	2,693	4%	420	39	677	5%	106	45
北多摩南部	7,858	9%	785	49	7,024	9%	701	51	834	7%	83	42
北多摩北部	4,677	5%	643	44	4,066	5%	559	45	611	5%	84	42
島しょ	76	0%	275	30	25	0%	90	24	51	0%	185	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

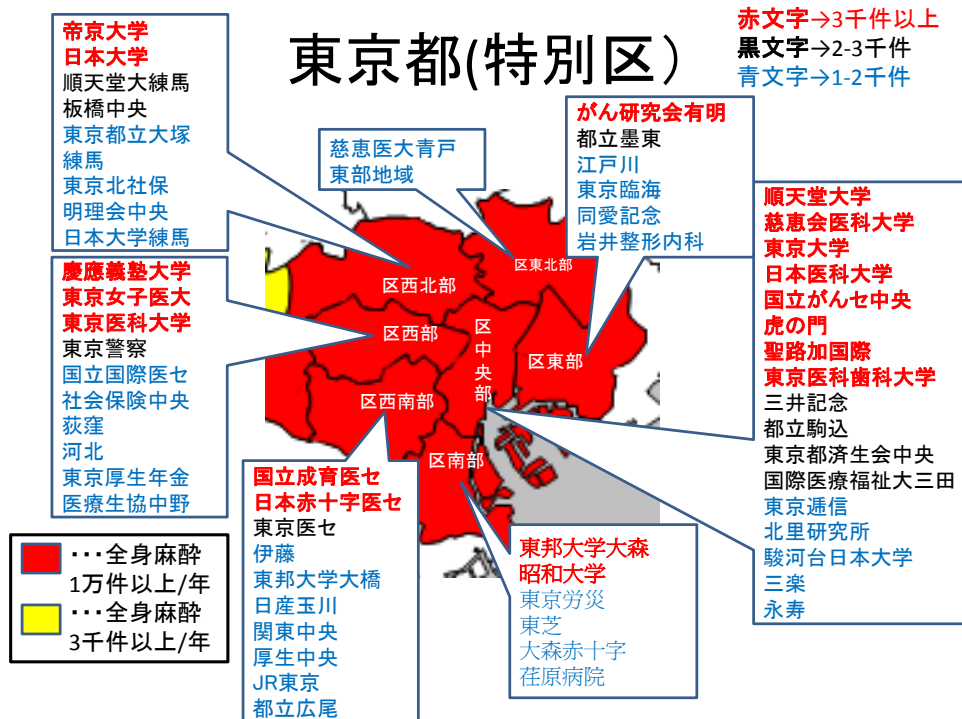
表 13-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
東京都	6,695	7.0%	51	44	4,745	7.4%	36	47
特別区合計	4,183	62%	47	43	3,084	65%	34	46
区中央部	415	6%	55	45	161	3%	21	43
区南部	409	6%	39	41	316	7%	30	45
区西南部	609	9%	45	43	422	9%	31	46
区西部	643	10%	54	45	567	12%	48	49
区西北部	927	14%	49	44	612	13%	33	46
区東北部	645	10%	49	44	652	14%	49	50
区東部	536	8%	39	41	354	7%	26	44
特別区外合計	2,512	38%	60	46	1,661	35%	39	48
西多摩	296	4%	75	50	210	4%	53	51
南多摩	873	13%	61	47	453	10%	32	46
北多摩西部	378	6%	59	46	306	6%	48	49
北多摩南部	515	8%	51	44	406	9%	41	48
北多摩北部	449	7%	62	47	286	6%	39	48
島しょ	1	0%	4	33	0	0%	0	39
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病棟連絡協議会			

表 13-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

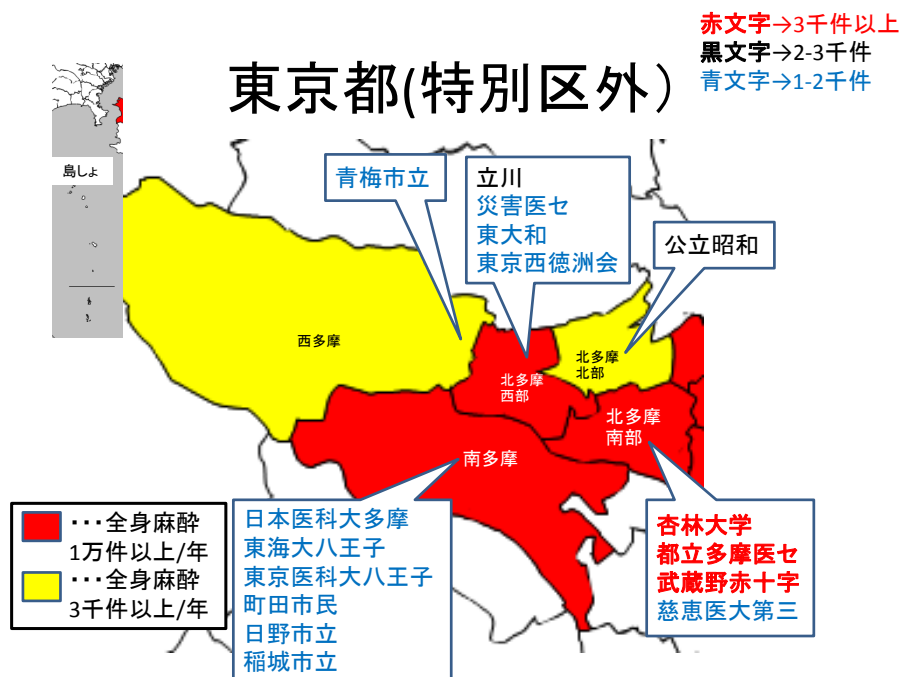
二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
東京都	1,457	10.4%	12.0	54	69	8.9%	0.6	50	646	9.5%	5.3	53
特別区合計	1,166	80%	14.1	58	46	67%	0.6	50	448	69%	5.4	54
区中央部	179	12%	26.0	80	4	6%	0.6	50	54	8%	7.9	70
区南部	131	9%	13.5	56	4	6%	0.4	48	49	8%	5.0	51
区西南部	189	13%	15.2	60	5	7%	0.4	48	80	12%	6.4	60
区西部	178	12%	15.6	60	5	7%	0.4	48	60	9%	5.3	53
区西北部	238	16%	13.1	56	14	20%	0.8	53	83	13%	4.6	48
区東北部	128	9%	9.9	50	11	16%	0.9	55	70	11%	5.4	54
区東部	123	8%	11.1	52	3	4%	0.3	46	52	8%	4.7	49
特別区外合計	291	20%	7.5	45	23	33%	0.6	51	198	31%	5.1	52
西多摩	17	1%	4.2	39	3	4%	0.7	53	19	3%	4.7	49
南多摩	87	6%	7.0	45	11	16%	0.9	55	53	8%	4.3	46
北多摩西部	41	3%	7.2	45	2	3%	0.3	47	33	5%	5.8	56
北多摩南部	88	6%	9.7	49	5	7%	0.6	50	53	8%	5.8	57
北多摩北部	56	4%	7.7	46	2	3%	0.3	46	40	6%	5.5	54
島しょ	2	0%	4.5	40	0	0%	0	41	0	0%	0	18
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 13-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数（東京都、特別区）



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

図 13-2 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数（東京都、特別区外）



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 13-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り		介護保険 施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り		総高齢者 住宅数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	
			偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差			偏差値 *全国は 標準偏差	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
東京都	121,233	7.1%	100	41	63,588	6.8%	52	39	57,645	7.6%	47	47
特別区合計	66,457	55%	80	33	32,754	52%	40	28	33,703	58%	41	44
区中央部	5,638	5%	82	33	2,860	4%	42	30	2,778	5%	40	43
区南部	6,750	6%	69	28	3,221	5%	33	23	3,529	6%	36	41
区西南部	9,408	8%	76	31	3,878	6%	31	22	5,530	10%	44	45
区西部	7,157	6%	63	25	3,285	5%	29	20	3,872	7%	34	40
区西北部	15,043	12%	83	34	7,603	12%	42	30	7,440	13%	41	44
区東北部	12,498	10%	97	40	6,654	10%	51	38	5,844	10%	45	46
区東部	9,963	8%	90	37	5,253	8%	47	35	4,710	8%	42	44
特別区外合計	54,776	45%	141	59	30,834	48%	79	60	23,942	42%	61	54
西多摩	10,591	9%	259	110	9,001	14%	220	173	1,590	3%	39	43
南多摩	17,578	14%	142	59	9,074	14%	73	55	8,504	15%	69	57
北多摩西部	7,088	6%	124	51	3,564	6%	62	46	3,524	6%	61	54
北多摩南部	9,384	8%	103	43	3,898	6%	43	31	5,486	10%	60	53
北多摩北部	9,733	8%	133	55	4,975	8%	68	51	4,758	8%	65	55
島しょ	402	0%	91	37	322	1%	73	55	80	0%	18	33
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 13-12 老人保健施設（老健）収容数、特別養護老人ホーム（特養）収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）				特別養護老人ホーム（特養）				介護療養病床数			
	収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
東京都	18,725	5.3%	15	34	38,514	7.7%	32	46	6,349	7.5%	5.2	48
特別区合計	10,746	57%	13	29	19,216	50%	23	38	2,792	44%	3.4	45
区中央部	789	4%	11	27	1,988	5%	29	43	83	1%	1.2	41
区南部	670	4%	7	19	2,077	5%	21	36	474	7%	4.9	48
区西南部	1,099	6%	9	22	2,380	6%	19	33	399	6%	3.2	45
区西部	768	4%	7	19	2,214	6%	19	34	303	5%	2.7	44
区西北部	2,600	14%	14	32	4,133	11%	23	37	870	14%	4.8	48
区東北部	2,591	14%	20	42	3,586	9%	28	42	477	8%	3.7	46
区東部	2,229	12%	20	42	2,838	7%	26	40	186	3%	1.7	42
特別区外合計	7,979	43%	20	42	19,298	50%	50	64	3,557	56%	9.1	56
西多摩	1,255	7%	31	60	6,594	17%	162	176	1,152	18%	28.2	92
南多摩	2,309	12%	19	39	5,246	14%	42	57	1,519	24%	12.3	62
北多摩西部	1,369	7%	24	48	2,127	6%	37	51	68	1%	1.2	41
北多摩南部	1,477	8%	16	35	2,067	5%	23	37	354	6%	3.9	46
北多摩北部	1,569	8%	21	44	2,942	8%	40	55	464	7%	6.4	51
島しょ	0	0%	0	7	322	1%	73	87	0	0%	0	39
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 13-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム				グループホーム				高齢者住宅			
	収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	住宅数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
東京都	32,890	10.5%	27.0	53	7,188	4.2%	5.9	39	5,088	5.8%	4.2	45
特別区合計	19,685	60%	23.8	51	5,010	70%	6.1	40	3,202	63%	3.9	44
区中央部	1,699	5%	24.7	51	329	5%	4.8	38	132	3%	1.9	39
区南部	2,051	6%	21.1	49	555	8%	5.7	39	402	8%	4.1	45
区西南部	3,909	12%	31.4	55	584	8%	4.7	37	263	5%	2.1	40
区西部	2,147	7%	18.8	48	489	7%	4.3	37	44	1%	0.4	35
区西北部	4,730	14%	26.1	52	1,060	15%	5.8	39	772	15%	4.3	45
区東北部	2,235	7%	17.3	47	1,160	16%	9.0	45	1,399	27%	10.8	61
区東部	2,914	9%	26.3	52	833	12%	7.5	42	190	4%	1.7	38
特別区外合計	13,205	40%	33.9	57	2,178	30%	5.6	39	1,886	37%	4.8	46
西多摩	637	2%	15.6	46	153	2%	3.7	36	185	4%	4.5	46
南多摩	5,327	16%	43.1	62	735	10%	5.9	40	511	10%	4.1	45
北多摩西部	1,408	4%	24.6	51	330	5%	5.8	39	525	10%	9.2	57
北多摩南部	3,844	12%	42.4	62	511	7%	5.6	39	326	6%	3.6	43
北多摩北部	1,979	6%	27.1	53	440	6%	6.0	40	339	7%	4.6	46
島しょ	10	0%	2.3	38	9	0%	2.0	33	0	0%	0	34
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 13-14 ～64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	～64歳人口			2010年を100とした～64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
東京都	10,074,322	9,458,748	8,190,078	96	90	78	1,712,462	2,033,234	2,139,104	141	167	176
特別区合計	6,921,360	6,512,080	5,627,380	96	91	78	1,130,664	1,328,664	1,410,992	137	161	171
区中央部	628,275	597,462	509,824	102	97	83	87,314	102,912	116,946	127	150	170
区南部	826,632	792,137	697,494	97	93	82	130,778	153,776	158,418	135	158	163
区西南部	1,070,940	1,001,513	862,977	97	91	78	161,535	189,887	215,734	130	153	173
区西部	886,501	816,904	694,472	92	85	72	162,595	188,717	199,846	143	166	175
区西北部	1,433,706	1,332,889	1,139,614	96	90	77	259,869	317,236	339,650	143	175	187
区東北部	948,828	864,119	725,078	91	83	70	179,112	194,539	189,879	138	150	147
区東部	1,126,478	1,107,056	997,921	100	98	89	149,461	181,597	190,519	135	164	172
特別区外合計	3,152,962	2,946,668	2,562,698	94	88	77	581,798	704,570	728,112	149	181	187
西多摩	264,951	233,533	193,141	87	76	63	56,935	68,705	65,710	139	168	161
南多摩	1,066,145	1,010,296	887,053	95	90	79	201,864	250,560	251,698	163	203	204
北多摩西部	479,519	446,914	388,292	94	88	76	86,496	105,084	107,803	151	183	188
北多摩南部	783,750	736,256	640,618	96	91	79	127,755	154,915	171,992	141	171	190
北多摩北部	542,491	506,145	442,354	95	89	78	104,170	120,161	126,411	143	165	173
島しょ	16,106	13,524	11,240	82	69	57	4,578	5,145	4,498	104	116	102

出典 平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月
日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

表 13-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			
		総医療需要増減率	64歳以下医療需要増減率	75歳以上医療需要増減率	総介護需要増減率
全国		10%	-30%	58%	50%
東京都		25%	-22%	76%	69%
特別区合計	大都市型	25%	-22%	71%	65%
区中央部	大都市型	34%	-17%	70%	69%
区南部	大都市型	24%	-18%	63%	59%
区西南部	大都市型	29%	-22%	73%	70%
区西部	大都市型	28%	-28%	75%	70%
区西北部	大都市型	31%	-23%	87%	80%
区東北部	大都市型	6%	-30%	47%	40%
区東部	大都市型	27%	-11%	72%	65%
特別区外合計	大都市型	25%	-23%	87%	77%
西多摩	地方都市型	5%	-37%	61%	51%
南多摩	大都市型	29%	-21%	104%	90%
北多摩西部	大都市型	24%	-24%	88%	77%
北多摩南部	大都市型	32%	-21%	90%	83%
北多摩北部	大都市型	22%	-22%	73%	65%
島しょ	過疎型	-20%	-43%	2%	-1%

出典 平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月
日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省
平成22年度 国民医療費 厚生労働省

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 13-3 東京都（特別区合計）2010年→40年医療介護需要の増減予測

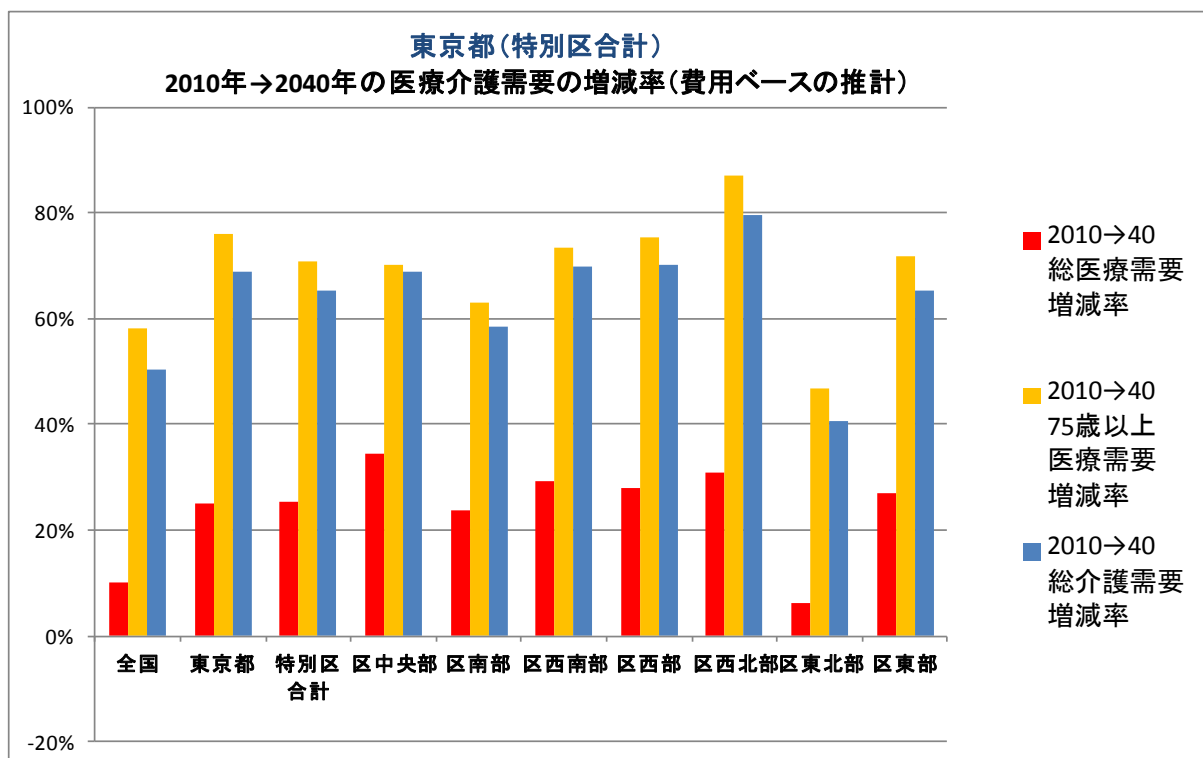


図 13-4 東京都（特別区外合計）2010年→40年医療介護需要の増減予測

